

支援の方法と一緒に考えてみましょう

この冊子は、社会の一員として成長していくために、子どもの目線に立って
“大人へのメッセージ”と考え作成しました。
私たち大人のちょっとした手助けや関わり方を、いろいろ試行錯誤しながら、
うまくいったことを積み上げていきましょう。

“困った子”ではなく“困っている子”と考えて
早い時期から適切に支援を行っていくことが
大切とされています。

行動を
観察しましょう

ほめ上手に
なりましょう

6つの対応ポイント

伝え方には
その子に合わせた
工夫が必要です

いろいろな
取り組みは
スモール
ステップで

子どもの話に
耳を傾けま
しょう

無理強い
は禁物です

子どもの「変わりやすさ」と「変わりにくさ」

子どもの自信とやる気は、家族や友達・先生などまわりの人がかかわることで育っていきます。

ちょっと頑張って「できたー！！」と思っている時はもちろんですが、失敗して困っている時にも「がんばったね」と言葉をかけることが大切です。「自分は大事にされている」という安心感を持てるようにしましょう。大人がかかわり方を知ることで、子どもも成長しながら、少しずつ変わっていきます。

また、もともと「できること」「できないこと」に大きな差がある子どもや、発達がゆっくりな子どもは、すぐには変わらない場合があります。その子にあわせてかかわり方を変えることで、お子さんの不安が減り、親御さんの子育てが楽になることもあります。早めに相談して、具体的な方法と一緒に考えていきましょう。

長野市こども総合支援センター あのエっと

電話：026-224-7849

わかってくれたらうれしいな

長野市こども総合支援センター あのエっと

一人で悩まないで

一緒に考えましょう

育てにくさを感じている！

子どものここが
気になる！

気持ちが落ち込んだ時、
支援してくれるところはある？

子どものこんな姿

- 人の話を聞かずに自分のことばかりしゃべってしまう。
- 何度も同じことを注意されてしまう。
- 友だちの使っているおもちゃをとっさにとってしまう。
- 何でも“一番”にこだわってしまう。
- ポーっとしていることが多く、いつも行動が皆より遅くなってしまう。
- かんしゃくを起こしたり、泣き出したら止まらなくなってしまう。



集団の中で“あれっ？”

- 家では“ちょっと気になる”程度のことが、幼稚園や保育園に入園した3歳過ぎ頃から「あれっ？」とか「やっぱり」と思うことがあります。
- 幼児期は、子どもの成長の中で、もっとも変化が大きい時期。同時に一人一人の違いも目立ちやすい時期です。
- 集団生活が始まり、家庭とは違った環境の変化で、さまざまな「気になる行動」がより見えやすくなる場合があります。



育て方の せいなの？

愛情豊かに育ててきた子どもの発達が他の子と比べてゆっくりだったり、育てにくさを感じたりすることもあるでしょう。

そして、トラブルのたびに、どんどん子育てに自信を無くして、自分を責めて辛い気持ちになることも・・・。

すると、ついつい目の前の子どもを“困った子”と思ってしまいます。

でも 子どもも“困っている”のです。

こんなことに困っているの！

ぼくは

何度言われても、
すぐ忘れちゃうの。
だから…「何回目？」って
おこられちゃう。

本当はね！

- ☆聞こえていないわけではないの。夢中になっちゃうの。
- ☆言われていることがわからないの。
- ☆どうしたらいいかわからないの。

大人の人お願い

- ★近くで名前を呼んで気づかせてね。片付けは、「どこ」に「何」を入れるか教えてね。
- ★言葉で言われても思い浮かばないの。目で見せてね。(写真や絵を使って目でわかるように教えてね)
- ★できたら「それでいいよ」と教えてね。

わたしは

ウロウロしちゃうの。
急に動いて怪我をしそうに
なっちゃうの。
だから…落ち着きがない子、
あぶない子って言われちゃう。

本当はね！

- ☆何をしたいかわからないの。
- ☆わざとじゃないの。いろいろなことに興味を持っちゃうの。(高いところにのぼりたい・あれもこれも見たい)
- ☆やりたいことだけしか見えないの。
- ☆なんだか不安で落ち着かなくなっちゃうの。

大人の人お願い

- ★叱る前に「〇〇がしたかったんだね」って気持ちを受け止めてね。
- ★いろいろな物や音が刺激になっちゃうから、あまりにぎやかなところはやめてね。物は少なくしてね。
- ★「これから〇〇するよ」って教えてね。
- ★そうすると不安が少なくなるの。

お友だちと遊んでいると
噛んだりたたいてちゃうの。
だから…“乱暴な子”って
言われちゃう。

本当はね！

- ☆本当はお友だちと一緒に遊びたいの。
- ☆何て言えばいいか言葉でうまく伝えられないの。

大人の人お願い

- ★お友だちとけんかしそうになったら、抱きしめて、なんて言ったらいいか教えてね。
- ★大人の人が一緒に「あそぼう」って言ってくれたら僕も言えるかなあ。
- ★お話しが上手になるまで繰り返し教えてね。

話し出したら
止まらなくなっちゃうの。
だから…“うるさい”って
言われちゃう。

本当はね！

- ☆“わざとじゃないの”楽しくなっちゃうと止められないの。

大人の人お願い

- ★うなずきながら、「〇〇したかったんだね」と静かに話を止めてね。
- ★気持ちを落ち着かせてね。

はさみやクレヨン、のりが
うまく使えないの。
だから…
不器用って言われちゃう。

本当はね！

- ☆だって手先がうまく動かないの。
- ☆のりや粘土、泥のべとべとの感触が嫌なの。
- ☆うまくできなくてみんなに笑われるからやりたくないの。

大人の人お願い

- ★触った感触が嫌いなことも多いから、スティックのりなど使えるものを工夫してね。
- ★うまくできないところは手伝ってね。

いつでも一番じゃないと
だめなの。
だから…お友だちとけんか
になっちゃう。

本当はね！

- ☆“一番”は僕のものなの。
- ☆だって一番前はわかりやすいもの。
- ☆早く遊びたくて順番が待てないの。

大人の人お願い

- ★初めは大人の人と一緒に並んで順番を教えてね。
- ★一番でなくても出来ることを教えてね。
- ★順番が待てたらほめてね。

*私たちのいろいろな行動にはわけがあるよ。

(わからないから、嫌だから、待てないから…)

*大人にとって困った行動かもしれないけれど、わざとじゃないの。怒ったりしないでね。

*まずは深呼吸して、僕たちの話を聞いてほしいな。

*そばにいてくれる大人が大好き!! だから、いっぱいがんばっているよ。

*そばにいてくれる大人も、“大好きだよ”って“ギューツ”って抱きしめて。

*「これでいいよ」って小さな事をたくさんほめてね。

*たくさんほめられたら、“自分が好き”な気持ちになれるよ。

こども総合支援センターでは、電話相談や面談による相談を行っています。

電話：0120-783-041 または 026-224-9746

時間：月～金 8:30～17:15